



身を切る改革で 覚悟を示そう！ 政治とお“金”に まつわるいろんな話



特集 7月議会 &
所得報告書ほか公開

維新は有言実行！身を切る改革を再開！
123万円を市内児童養護施設へ寄付

すがや浩平
京都市議会議員事務所

市政に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

.....
.....
.....
.....

日本維新の会への入党を希望する。 選挙(立候補)に興味がある。 ポスター掲示を許可する。

お名前	フリガナ	ご連絡先	() -
ご住所	〒		

※ ご記入いただいた個人情報は、ご連絡以外の目的では使用いたしません。

FAX	1 上記に記入し、キリトリ線で切る	2 右記番号までFAXする	3 後日ご連絡させていただきます	Fax 075-493-6564
Email	1 QRコードを読み取るかメールアドレスを入力する	2 項目を記入し、送信する	3 後日ご返信させていただきます	Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp

※ 上記の枠内にご記入のうえ、写真に撮ったものをメールに添付し送信いただいても大丈夫です。



日本維新の会 党员・候補者募集

日本維新の会では、党の綱領にご賛同いただき入党して下さる方と立候補者を募集しています。入党には年額2千円の党費と審査が、立候補には公募申請がそれぞれ必要となります。詳しくは「京都維新の会」ウェブサイトにてご確認ください。 <http://kyoto-ishin.jp/>



▲ポスター/A2サイズ

毎月第2土曜日に議会報告会を行なっています。

私、京都市議会議員の菅谷浩平は、毎月定例の議会報告会を下記の通り開催しております。是非ともお問い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。
[日時] 毎月第2土曜日夕方5時～6時 [場所] 菅谷浩平 京都市議会議員事務所

ポスター掲示ご協力のお願 (ポスター/A2サイズ タテ594mm×ヨコ420mm)
ご自宅などの外壁・窓ガラス・フェンスなど、ポスターの掲示を許可していただける場所を探しています。

著作権法上、本紙掲載の写真、図、文章及びデザインの無断転載、借用、複製は禁じられています。

01 京都市7月議会

請願・陳情を各委員会に付託・回付しての審議

京都市7月議会が7月19日に開会し、市民らから提出された請願5件・陳情486件を常任委員会に付託・回付することを決め、同日に閉会した。

請願と陳情は各常任委員会にて審議がなされ、2件の請願(北陸新幹線の京都延伸計画への不同意、いきいき市民活動センターの利用料金値上げの中止)については不採択、3件の請願(現行の敬老乗車証制度の存続、学童う歯制度の存続及び保育料軽減や保育士加配等の削減の中止、マンション建設計画の指導)については継続審議となった。

つぎの9月議会は、9月22日に開会する予定。

02 所得報告書／夏のボーナス／政務活動費収支報告書

京都の知事・市長の給与は平均を大幅に上回る！近畿の最低はいずれも維新政務活動費480万円のうち442万円を支出、残り37万円は市に返還へ

京都府と京都市は6月30日、2020年の知事・市長・府議・市議の所得報告書をそれぞれ公開した。昨年の所得(給与と所得以外の所得も含む)は、西脇京都府知事が1925万円、門川京都市長が1850万円、京都府議(60人)の平均が1564万円、京都市議(66人・欠員1人)の平均が1463万円だった。昨年のおたしの所得は平均を下回る1273万円だった。

ちなみに、所得報告書の公開対象となった都道府県知事(47人中44人)と政令市長(20人中19人)の給与と所得の平均は、知事が1797万円、市長が1765万円だった。京都府知事の1919万円と京都市長の1835万円はそれぞれ平均を大幅に上回った。なお、近畿2府4県の知事と4政令市の市長のなかでそれぞれ最も給与と所得が低かったのは、大阪府の吉村知事の1558万円と堺市の永藤市長の1380万円、いずれも維新の首長だった。

また、所得報告書が公開された同日、京都府と京都市では夏のボーナスが支給された。特別職では、西脇京都府知事が311万円、門川京都市長が255万円、京都市議の平均が229万円、京都市議の平均が216万円だった。こちらにも、近畿2府4県の知事と4政令市の市長のなかでそれぞれ最もボーナスが低かったのは、大阪府の吉村知事の236万円と堺市の永藤市長の233万円だった。

維新は有言実行！身を切る改革を再開！ 123万円を市内児童養護施設へ寄付

2019年の議員報酬から20%カット相当分を施設の子どもたちの教育費に充てる目的で支援！

京都府への三度目の緊急事態宣言が6月に、京都市へのまん延防止等重点措置が7月にそれぞれ解除されたのを機に、わたしは2015年の初当選からコロナ禍で自粛生活を余儀なくされるまでの間、毎年おこなってきた寄付の活動を再開させることにした。これは、わたしが公約に掲げている「議員報酬の3割削減」を口先だけの公約にしないために、京都市議会に現在おこなっている議員報酬の10%カットとは別に、自主的に20%カットに相当する金額を被災地などの本場に財源が必要などころへ寄付をするというもの。



▲児童養護施設「和敬学園」の施設長に寄付金の目録を手渡す

熊本地震災援金、熊本城復元整備基金、倉敷市西日本豪雨災害義援金、神戸市民病院機構などがある。今回は、上京区にある児童養護施設に対して、2019年の議員報酬から20%カットに相当する123万5500円を寄付させていただいた。

※ 公職選挙法により、京都市への報酬の返還や北区の個人・団体などへの寄付は認められていません。

菅谷 浩平 (34)



所属政党／日本維新の会
党の役職／京都府総支部幹事長
地域活動／消防団・少年補導・子ども見守り隊ほか

1986年に京都府京丹後市網野町で生まれる。京都府立網野高校、明治大学法学部を卒業後、大和証券株式会社で営業マンとして働く。2015年に28歳で京都市議選に北区から立候補し初当選。公約に掲げた議員報酬30%カットは自主的に実行中。

編集後記 Editor's note

わたしは過去の2回の選挙において、「議員報酬の3割削減」を公約に掲げてきた。京都市議会は今年の2月議会で、夏と冬のボーナスをそれぞれ7・5%ずつカットし、現在の月額報酬の10%カットと合わせて計1億円をコロナ対策などに充てる決議を全会一致で採択した。しかし、京都市は財政難の折、来年度以降の本格的な市民サービスの見直しはもはや避けられない状況だ。先月号でわたしは、門川市長にさらなる覚悟を示すように注文をつけた。わたしも報酬の30%カットは続けるが、市民に負担を求める前にまずは、市長や議員が率先して自分たちの身分を見直す政治姿勢こそが求められている。

菅谷浩平 京都市議会議員事務所
〒603-8232 京都市北区紫野東野町20-1
Tel 075-493-6564
Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp

